

結成20周年  
新たな大躍進  
に向け出発！

# 日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939番  
(公) 043(222)7207番

99.12.13 No. 5061

## 京葉線来年12月乗り入れを予定 同時に小名木川駅廃止も—関東支社交渉 (12/7)

貨物協議会は貨物職場をめぐる諸問題の解決に向けて、関東支社に動労千葉申第3号の申し入れを行い、十二月七日、関東支社の回答の団交が開催された。

一、新聞紙上において「小名木川駅の再開発」が報じられているが、関東支社として小名木川駅、越中島貨物駅の今後の位置付けについて、明らかにすること。

組合 小名木川廃止問題について、三〇駅廃止の一つとして出てきたのか。

会社 京葉線乗り入れの時、小名木川の使命が減る。使命としては小名木川発着の列車、京葉・鹿島臨海の中継、東日本のレールの三点がある。東海道、北（宮城野・北海道）向けの荷物は、年度末に決着したほうがお客さまにとって都合がよい。京葉・鹿島関係は京葉線が出来るまでそのままにしておく。

本社に開発プロジェクトがあり、コンペにより開発計画を募集する。どういう開発をしていくかは未定。京葉線乗り入れが十二月予定なので、十二月まで暫定的に使用する。

組合 これは関東支社にとって決定的な要素になる。ゼネコン・自治体など利権の取り合いになり、もみくちゃにされる危険性がある。千葉機関区にとっても、三月のダイ改でどうなるかという問題がある。

会社 通運さんに説明する前に新聞に出てしまつた。通運にとつては深刻な問題なつていて。大きな節目は来年十二月、数は減るが三月から十二月まで暫定的に残す。十二月になると貨物列車として残らない。東日本との関係で、越中島貨物駅は肩がわりとなるところがないのでそのままやる。

組合 今年中にダイ改の提案はあるのか。本社には早くしてくれと言っている。

動乗勤の事もあるので、運用表は来年になつてしまふ。一部では三月十一日といわれているが、逆算しても年内には提案したい。動乗勤を改正するのか、それがはつきりしないと細かいことはできない。

二、京葉線への貨物列車の乗り入れについて、現在の進捗状況と今後の計画について明らかにすること。

組合 京葉線への移行はいつになるのか。

会社 転は七月頃から。整理してから組合には提案したい。十二月にダイ改はない、やるなら全体的なダイ改ですしかねない。

組合 訓練を含めて、要員の手配・計画はどう考えているのか。

会社 まだ具体的にはない。七月にならないと（設備的な問題で）わからないし、

千葉・新小岩含めて六〇名、半年はかかる。支社としては、六月から始めたい。前日机上、線見は次の日に泊りで五往復。一人三日、七月から初めても一二月の開業には全員は間に合わない。残りは移行してからも可能。残った人は定期列車で一線見五ハンドル、最近では全部を指導員が行うとは限らないが、線見は指導が行う。

組合 防護要員の省略は、ダイ改時に行う。

会社 新規採用ゼロはどの位の間か？

組合 二年間の予定。

会社 来年一二月頃、鹿島地区の荷主が貨物列車にしたいとの要請があるが、どの位荷が出るかまだわからない。

五、機関車の老朽化が原因と考えられる車両故障が増加しているが、その対策について明らかにすること。

会社 運休の手配について遅いと現場からも声が出ていて。東北線の水害については、列車を切つて早く正常に戻すことを考えなければならないと反省会を行つてきた。関東は、要員・機関車・貨車のまわしが複雑なので、早めにまびかないとなかなか正常にならない。

会社 来年度EH500が5両投入されるが、新しい機関車を入れないことには抜本的な問題解決にはならない。とりあえず修繕費を上乗せして、主要部品の取り替え等を行つていく。故障件数について、ELは横ならび、DLについては減つていて。横ならび、DLについては減つていて。故障箇所について、修繕が終わつたら乗務員の方にも報告してほしい。そうすれば乗務員も勉強になる。

組合 二〇〇〇年問題の対策はどのように要員・教育を含めて考えているのか。

会社 全社的に二一本あるうちの一九本が関東支社（うち一八本が油）で、半分が停車中。考えられる問題として電子運動、PRC、CTCの関係があるが、これは東日本の関係になる。システムは全てチエック済みである。関係する駅は要請があれば、管理者を配置する。

会社 コンテナ・車扱いのコンピューターは、年末年始は停止しているので、またがりの部分では問題がない。あるとすれば、立ち上がりの時にどうなるかが心配。

会社 四、災害時等で列車に遅延が発生したとき、依然として貨物列車の運転回復が遅れる状況が続いているが、関東支社の見解を明らかにすること。

会社 コンテナ・車扱いのコンピューターは、年末年始は停止しているので、またがりの部分では問題がない。あるとすれば、立ち上がりの時にどうなるかが心配。

会社 四、災害時等で列車に遅延が発生したとき、依然として貨物列車の運転回復が遅れる状況が続いているが、関東支社の見解を明らかにすること。